

(株)ニッパン 第3四半期連結累計期間の業績および通期連結業績予想

< 連結業績の概要 >

(%表示は対前年同四半期比率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	317,446	101.6	17,768	104.0	20,631	103.9	15,577	79.9
2025年3月期第3四半期	312,513	102.5	17,078	94.9	19,849	95.9	19,489	136.2

当第3四半期連結累計期間においては、収益力強化を図る取り組みとして、マーケティング戦略を家庭用から業務用まで含めた全領域へ拡大し、「消費者起点のマーケティング」を徹底することで、ブランド認知の更なる向上と収益拡大に取り組みました。併せて、国内製粉事業の基盤強化を担う知多工場の建設工事は、竣工に向け最終局面を迎えております。同工場では、大型穀物船接岸による原料調達コストの削減に加え、自動化技術やDXを活用した生産効率の向上を図り、BCPや環境にも配慮した最先端工場として、安定供給と収益性を支える体制を構築してまいります。

加えて、成長領域の拡大に向けた取り組みとして、冷凍食品の需要拡大を見据えた供給体制の増強を目的に進めている株式会社畠中食品の新冷凍食品工場建設は、2026年度末の竣工に向けて順調に進捗しております。また、本格稼働を開始したUtah Flour Milling, LLCの工場は、生産が順調に拡大し、米国市場における商品の拡販を進めております。

当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、インバウンド需要の拡大やマーケティング戦略を駆使した販売促進、並びに諸コストの上昇に伴い実施した価格改定により、売上高は3,174億4千6百万円（前年同期比101.6%）となりました。利益面では各事業において原材料費や人件費、物流費を始めとした諸コストの増加があったものの、販売が堅調に推移したことにより、営業利益は177億6千8百万円（同104.0%）、経常利益は206億3千1百万円（同103.9%）となりました。一方で、前年に遊休地の売却による特別利益の計上があったことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は155億7千7百万円（同79.9%）となりました。

< 2026年3月期 通期連結業績予想 >

通期の業績につきましては、2025年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値を据え置いております。

また、配当につきましても、当初予想の1株当たり年間66円の予定から変更はございません。